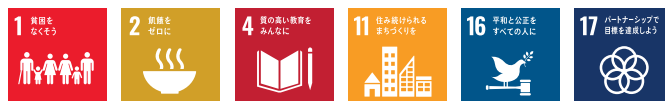


成田の未来をつくる教育を推進する



8年後の 目指す姿

少子高齢化やグローバル化、ICT（情報通信技術）の進展などの教育を巡る環境変化の中で、これからの社会を生き抜いていくために必要な子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」が育まれています。

4年間の 取組方針

子どもたちが社会を生き抜く力を育み、グローバル化に対応できるよう、人的支援やICT環境の整備等による教育環境の充実を図ります。また、様々な困難を抱えている子どもたちの個々の状況に応じたきめ細かな支援を行うため、教育相談員等を配置するなど、社会の変化に対応した教育を推進します。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
タブレット端末の導入校数	0校	9校	29校(全校配置)	29校(全校配置)
親子方式による 給食施設の整備箇所数	2箇所	3箇所	7箇所	8箇所
教育相談員配置校数	12校	12校	16校	17校

現状と課題

未来をつくる子どもたちの生きる力を育むために、本市では、成田市教育振興基本計画「輝くみらいNARITA教育プラン」に基づき、社会の変化に対応した学校教育環境づくりに取り組んでいます。

高度情報化やグローバル化など目まぐるしく変容する現在の社会にあっては、新しい時代に必要となる子どもたちの生きる力を支える資質や能力を育む特色ある教育基盤の構築が求められています。そのためには、新たな教育に対応したICT環境の整備や国際理解教育の推進に加え、教職員の人材確保と資質向上を図る必要があります。

また、特別な支援を必要とする児童や、学校内外で様々な困難を抱える児童が安心して学校生活を過ごせるよう、教育相談員やスクールソーシャルワーカーを配置するなど、不登校や非行・いじめなどの問題に適切に対応するとともに、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援が必要となります。

さらに、学校施設については、長寿命化計画に基づく施設の改修やバリアフリー化など、教育環境の充実を図る必要があります。加えて、学校給食については、親子方式による共同調理場の整備を進めるとともに、児童生徒への栄養バランスのとれた食事の提供と、アレルギーなどへの対応が求められています。

施策の方向

1 学習指導内容の充実に努めます。

特色ある学校づくりや教育課程の編成を進め、児童生徒が多様な文化やグローバル化に対応できる資質の育成を図ります。また、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着を図るとともに、学力調査の結果を活用して学力向上に向けた取組みを進めます。

主な事業…特色ある学校づくり事業、副読本整備事業、個性を生かす教育推進事業、養護補助員配置事業、特別支援教育支援員配置事業、学力調査事業

2 教育環境の充実に図るための施設整備を推進します。

学校内のICT環境の充実に図るとともに、安心・安全な教育環境を維持するため、計画的な学校施設の改修やバリアフリー化を推進します。また、大栄地区の学校規模適正化を図るため、「大栄みらい学園」の開校に向けた施設整備を進めます。さらに、児童生徒にとって望ましい学校給食を提供するため、親子方式の共同調理場を整備します。

主な事業…小・中学校教育用コンピュータ整備事業、小・中学校長寿命化改良事業、小・中学校特別教室空調設備整備事業、大栄地区小中一体型校舎建設事業、学校給食施設整備事業

3 よりよい学校教育環境づくりを推進します。

学校の抱える様々な問題に対し、解決に向けた支援を行います。また、児童生徒の就学に対する各種支援を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。さらに、教職員の資質や能力の向上を図るため、社会の変化や教育課程に対応した研修を実施します。

主な事業…学校問題解決支援事業、児童生徒就学支援事業、小・中学校就学援助費支給事業、教育センター運営事業

4 健やかな心と体力の増進を図ります。

成長期にある児童生徒の健康の増進及び体力の向上を図るとともに、豊かな心を育むため、「心の教育」の充実に図ります。また、望ましい食習慣を身につけるため、市立小中義務教育学校及び大栄幼稚園に栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食育について積極的に取り組みます。

主な事業…児童生徒等健康診断事業、小中学校体育活動事業、問題を抱える子ども等の自立支援事業、学校給食事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 学校教育への理解
- ボランティア活動や学校外での教育活動などの支援



行政の役割

- 教育環境の整備促進
- 学習指導の充実
- 教職員の資質向上

関連する個別計画

成田市学校教育振興基本計画、成田市教育施設長寿命化計画、学校給食施設整備計画



第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-2

学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる

8年後の
目指す姿

学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる環境が整っています。

4年間の
取組方針

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子どもたちの健全な成長を支え、学校と地域が連携・協働する学校支援活動を推進し、地域で子どもを育む環境づくりを進めます。また、地域の人材を活用するなど家庭教育支援を充実させ、家庭の教育力の向上に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
学校支援のための 地域コーディネーター数	4人	13人	23人	29人
家庭教育学級参加者数	10,536人	10,393人	10,500人	11,000人

現状と課題

子どもたちの健やかな成長を地域ぐるみで支えるため、本市では、全校に学校評議員を配置するとともに、学校支援地域本部の設置を推進し、学校・家庭・地域の連携を通じた教育体制づくりを進めています。

今後、さらに開かれた学校づくりを進めるためには、地域の多様な人材の参画を促し、保護者や地域の声を反映した効果的な地域学校協働活動を推進していく必要があります。そのためにも、地域コーディネーターの人材の確保と育成に努め、学校と地域とが相互にパートナーとして連携・協働した「学校を核とした地域づくり」を進めていく必要があります。

また、保護者が家庭で子どもの教育を行う上での必要な心構え、望ましい保護者のあり方などを学ぶとともに、保護者同士のつながりを深めることを目的に開設している家庭教育学級において、今後も保護者のニーズに合わせた講座の開催や、学校や地域の特色を生かした自主的・創造的な取組みを行うことにより、家庭の教育力の向上を図っていく必要があります。

施策の方向

1 学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを推進します。

地域ぐるみで子どもを育む体制づくりとして、学校・家庭・地域の連携強化に努めます。また、地域住民の意見を学校運営に反映させる学校評議員制度を発展させ、学校の特色を生かした開かれた学校づくりを推進します。

主な事業…学校支援地域本部事業、学校評議員設置事業

2 家庭教育の向上に向けた支援を行います。

家庭教育の向上に向け、児童生徒の個性や各家庭の状況に応じた取組みの充実を図るとともに、家庭教育の重要性について理解が深まるよう啓発を行います。また、学習内容に応じて地域ボランティアや家庭教育支援団体などの地域の人材の活用を推進します。

主な事業…家庭教育学級開催事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 地域の子どもを育む意識の醸成
- 地域ボランティアなどへの積極的な参加
- 家庭での子どもとの交流



行政の役割

- 学校運営に対する地域住民の意見の反映
- 地域ボランティアが参画しやすい学校支援のための仕組みづくり
- 家庭の教育力の向上に向けた取組みの促進

関連する個別計画

成田市学校教育振興基本計画

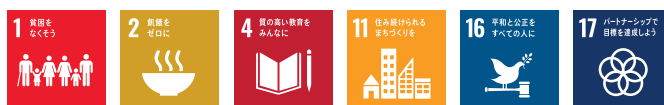


第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-3

幼児教育を推進する



8年後の 目指す姿

幼稚園における教育環境の整備や幼児教育の振興が図られ、将来を担う子どもが、社会性や豊かな人間性を育み、健やかに成長できる社会が構築されています。

4年間の 取組方針

大栄幼稚園の適切な運営・管理を行うとともに、私立幼稚園への支援を進め、幼児教育環境の更なる充実に努めます。また、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
幼稚園在籍者数	2,341人	1,949人	2,000人	2,000人

現状と課題

幼稚園教育の振興を図るため、本市では、公立幼稚園として大栄幼稚園を運営し、教育時間終了後や夏休み等の長期休業期間に預かり保育を実施するなど、幼児教育と子育て支援により家庭における幼児期の教育支援に努めるとともに、私立幼稚園に対して教材の購入費用や施設整備費用などの支援を実施しています。また、子育て家庭に対する保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援により、保護者の負担軽減を図っています。

今後は、ライフスタイルの変化や共働き世帯の増加などを踏まえて、幼稚園における子育て支援活動の充実や、質の高い幼児教育を展開していく必要があります。

施策の方向

1 公立幼稚園の運営の充実を図ります。

幼児教育のニーズを踏まえ、園児へのきめ細かな対応など、保育サービスの充実に向けて職員研修の充実を図り、幼児教育の質の向上に努めます。また、保護者の負担軽減を図るため、保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援を実施します。

主な事業…大栄幼稚園管理運営事業

2 私立幼稚園における幼児教育の振興を図ります。

幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に対して運営に係る経費を支援するとともに、保護者の負担軽減を図るため、保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援を実施します。

主な事業…私立幼稚園幼児教育振興支援事業、子ども・子育て支援施設等利用給付事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 幼稚園教育への理解
- 幼稚園行事への参加・協力

行政の役割

- 大栄幼稚園の適正な管理運営
- 私立幼稚園に通う保護者の経済的負担の軽減
- 私立幼稚園の運営支援

関連する個別計画

第2期成田市子ども・子育て支援事業計画、成田市学校教育振興基本計画



第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-1 心豊かな人を育むまちづくり

3-1-4

青少年を健全に育成する

8年後の
目指す姿

地域の青少年が豊かな心を育みながら人間性・社会性を身に付け、リーダーシップを発揮し、自立した社会生活を送っています。また、子どもたちにとって、地域の中での安全・安心な居場所が整備されています。

4年間の
取組方針

青少年の健やかな成長と自立を促すため、地域社会や関係団体と連携を図り、自然体験や社会体験、ボランティア体験など様々な機会を提供して、青少年健全育成活動の普及・啓発に取り組みます。また、地域の参画を得て、子どもの安全・安心な居場所づくりの推進を図ります。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
青少年育成団体主催行事への 児童生徒参加者数	3,077人	2,248人	3,000人	3,500人
放課後子ども教室参加児童数	3,053人	3,501人	4,600人	5,400人

現状と課題

青少年を取り巻く環境が複雑・多様化する中で、本市では、青少年の健全育成のため、学校、民間団体、地域の保護者と連携して様々な体験やボランティア活動を提供し、地域との交流や学びを通じた子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成に努めています。また、児童が放課後などに安全・安心に過ごせる居場所を確保するため、放課後子ども教室の運営を推進しています。

今後は、青少年育成団体が主体となって青少年健全育成活動の活性化につながる様々な体験・交流活動を行っていくことが求められています。また、放課後子ども教室においては、活動プログラムの企画等を行う総合的な調整役となるコーディネーター等の人員を確保するとともに、連携を図りながら体験・交流の場づくりを進めていく必要があります。

施策の方向

1 体験・交流活動の場づくりを進めます。

地域住民・青少年育成団体・民間団体の協力を得て、青少年の成長に合わせた、生活や社会の中で役立つ技能が習得できる体験活動を推進します。また、様々な体験やボランティア活動を通して、青少年の豊かな人間性や社会性を育みます。

主な事業…青少年健全育成事業、青少年対策に関する経費

2 子どもの安全・安心な居場所づくりを進めます。

小学校の余裕教室などを活用し、地域住民などの参画を得て、放課後や休日などに子どもを対象とした様々な体験や交流活動などを通じて、子どもたちの主体性や協調性を育むとともに、子どもの安全・安心な居場所づくりを進めます。

主な事業…放課後子ども教室推進事業、子どもの居場所づくり推進事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 地域における青少年の体験・交流活動の支援
- 放課後の子どもの居場所づくりへの参加・協力



行政の役割

- 体験・交流活動プログラムの拡充
- 青少年の放課後対策事業の推進
- 子どもの居場所づくりの推進

関連する個別計画

第2期成田市子ども・子育て支援事業計画、第2次成田市生涯学習推進計画、成田市学校教育振興基本計画



3-2-1

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

市民が学び成果を生かす まちづくりを推進する



8年後の 目指す姿

市民の学習ニーズの多様化に対応し、学習内容が充実しています。また、参加しやすい学習環境づくりが進み、その学習成果が市民活動に活用されるとともに、地域ボランティア、大学、企業などと連携した生涯学習の体制が整っています。

4年間の 取組方針

市民が生涯にわたり学ぶことができる環境の整備や学習機会の充実を図るとともに、学習成果を地域活動につなげるための仕組みづくりを促進します。また、大学や高等学校との連携により、講演会や講座の開催などを通じて、生涯学習の推進を図ります。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
生涯大学院の入学者数	92人	47人	100人	100人
市民の図書館利用登録率	26.8%	28.8%	29.0%	30.0%
公民館講座延べ参加者数	6,564人	5,444人	5,800人	6,000人

現状と課題

市民の学習意欲の高まりや多様化する学習ニーズに応えるため、本市では、参加しやすい生涯学習の環境づくりに取り組んでいます。

市民の学習ニーズは、年齢や個人の趣味趣向などにより多種多様であり、これまで様々な分野をテーマとした講演会や講座などを実施してきたところですが、インターネットの普及等による学習環境や情報収集手段の多様化、高齢者の就業促進などを背景に、市民の生涯学習の形態や手法は変化しています。そこで、今後は市民のニーズを的確に把握し、魅力ある講座を提供するなど学習内容の質の充実に努めるとともに、情報発信を積極的に行い、広く周知を図っていく必要があります。

また、市民の生涯学習活動の場として、公民館や図書館などの施設について誰もが利用しやすい環境の整備が求められています。

施策の方向

1 市民が参加しやすい生涯学習を推進します。

市民の学習ニーズの多様化に対応するため、年齢や世代に応じた学習機会の提供と内容の充実を図り、生涯にわたり学ぶことのできる環境づくりに努めます。また、地域の人材の積極的な活用と指導者やボランティアなどの育成に努めるとともに、学習成果を発表する機会を確保するなど、学んだことを生かす仕組みづくりを推進します。

主な事業…生涯大学校管理運営事業、明治大学・成田社会人大学運営事業、公民館講座教室等開催事業

2 市民の多様なニーズに応える図書館サービスを充実します。

地域を支える情報拠点として蔵書の充実を図るとともに、データベースやインターネットの閲覧など様々な情報提供に努めます。また、読書に対する親しみや理解を深めるため、おはなし会や各種講座を開催します。

主な事業…図書整備事業、図書館事業

3 生涯学習施設を充実します。

市民の生涯学習活動の場として、公民館や図書館などの生涯学習施設について、誰もが利用しやすい環境を整えるとともに、各施設の連携により、効率的・効果的な生涯学習の展開に努めます。また、赤坂センター地区において、生涯学習を支援するための多機能な複合施設の整備を検討します。

主な事業…公民館施設維持管理事業、図書館施設維持管理事業、赤坂センター地区複合施設整備事業（再掲）

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 生涯学習の機会や場の積極的活用
- 学習成果の地域や社会への還元



行政の役割

- 生涯学習の内容や環境の充実
- 多様な人材が地域の担い手となる体制の整備
- 図書館サービスの充実

関連する個別計画

第2次成田市生涯学習推進計画



3-2-2

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

成田の地域文化や伝統を学ぶ



8年後の 目指す姿

絵画・書道・陶芸をはじめとする文化芸術活動が市内の文化施設を中心に盛んに行なわれています。また、成田の歴史を学ぶ機会を通して、市民の文化への理解が深まるとともに、長い歴史を持つ伝統文化が地域の人材の協力を得て市民自身の手で保存・継承され、それらの文化を確実に次の世代に伝えていける体制が整っています。

4年間の 取組方針

文化や芸術などに触れ合う機会を市民に提供するとともに、市民や文化団体が文化芸術活動を行いやすい環境の整備に努めます。また、地域の歴史や伝統文化の継承、指定文化財の保存・活用を通じて、地域文化や伝統への理解を深めるとともに、成田の伝統文化を国内外に発信します。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
市民1人当たりの文化施設等における年間文化芸術活動回数	3.6回	4.1回	4.2回	4.5回
史跡めぐり・歴史講演会等への参加者数	438人	404人	450人	500人

現状と課題

地域に根差した文化や芸術などを保存継承するため、本市では、文化芸術活動の推進や成田の伝統文化の周知などに取り組んでいます。

市民の文化芸術活動は、成田国際文化会館や文化芸術センター、公民館などを主な活動場所として行われており、市民の文化活動をより活性化するためには、市民が活動しやすい環境づくりを図っていく必要があります。また、成田山新勝寺をはじめとした建造物などの有形文化財、「成田のおどり花見」に代表される無形民俗文化財などに関しては、成田の文化として保存・活用を行っていくとともに、「成田伝統芸能まつり」をはじめとするイベントの開催などにより成田の伝統文化を国内外に積極的に発信していく必要があります。

さらに、伝統文化を保存継承するため地域人材の確保と育成に努めるとともに、成田について学ぶ機会の拡充を図り、市民の文化芸術の振興に資するよう、幅広い事業展開が求められています。

施策の方向

1 文化芸術活動を実践しやすい環境づくりに努めます。

国際文化会館や文化芸術センターなどにおいて様々な世代の多様なニーズをとらえた事業を実施し、文化芸術の振興に向けた環境づくりに取り組むとともに、老朽化が進む国際文化会館については、再整備に向けた検討を進めます。また、文化財資料の保存と地域文化や伝統を学ぶ展示施設として、旧滑河・高岡小学校の校舎の利活用を図ります。

主な事業…国際文化会館管理運営事業、国際文化会館施設整備事業、文化芸術振興事業、文化芸術センター管理運営事業、文化財保存展示施設整備事業

2 成田にある伝統文化を国内外に周知・啓発します。

文化施設、有形・無形文化財、伝統文化などの文化資源を活用した事業の充実を図り、成田の文化芸術に関する市民の理解を深めます。さらに、日本遺産に認定された成田山門前の町並みや、地域に継承されている伝統的な郷土芸能を国内外に積極的に発信することにより、国際文化都市としての知名度の向上や地域活性化を図ります。

主な事業…文化財保護啓発事業、下総歴史民俗資料館管理運営事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 市民の自主的な文化芸術活動
- 文化芸術活動を通じた成田の魅力アップへの貢献
- 文化資源活用事業への参加による成田の魅力の認知



行政の役割

- 文化芸術活動の場と機会の提供
- 地域における文化活動への支援
- 文化資源の周知・啓発

関連する個別計画

第2次成田市生涯学習推進計画、成田市学校教育振興基本計画、成田市文化芸術推進基本計画



3-2-3

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり

スポーツに親しめる環境をつくる



8年後の 目指す姿

子どもや高齢者、障がい者など誰もが市内の充実したスポーツ施設等を利用し、スポーツを行う目的や体力・レベルに応じたスポーツ活動に親しんでいます。

4年間の 取組方針

市民が自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、「する」「みる」「ささえる」の、どの立場からでも参加できるイベントを開催します。また、スポーツ活動を支える団体や人材を支援し、地域・団体・市民が協働できるよう、スポーツを通じた地域づくりを推進するとともに、多様化するニーズに対応したスポーツ環境の充実に努めます。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
各種スポーツイベント参加者数	10,442人	22,756人	23,500人	24,500人
総合型地域スポーツクラブ数	0団体	1団体	2団体	3団体
スポーツ施設利用者数	103万人	107万人	108万人	109万人

現状と課題

誰もが気軽にスポーツに参加することができるよう、本市では、スポーツ活動の推進に取り組んでいます。

スポーツ活動は、健康で活力に満ちた豊かな生活を送る上で大きな役割を果たすとともに、交流の場として期待されています。また、近年の健康志向や国際的なスポーツイベントの開催などを受けて、市民のスポーツに対する関心が大きく高まっている中、スポーツを通じた健康づくり・地域づくりを推進していくことが求められています。

さらに、子どもや高齢者、障がい者など幅広い市民が自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう参加機会の充実を図るとともに、市民の多様化するニーズに対応した市民が利用しやすいスポーツ環境を提供し、スポーツの振興を図っていくことが必要となります。

施策の方向

1 誰もが参加できるスポーツ活動を促進します。

多種多様なスポーツイベントや教室を各種団体との連携・協力により開催し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ場の充実を図るとともに、観戦機会の拡充やイベントに関する積極的な情報提供を進めます。また、スポーツ指導者の育成・確保に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブのPR活動・支援を推進し、スポーツを通じて市民が主役となる地域づくりを目指します。

主な事業…各種大会教室等の開催事業、スポーツ団体育成事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業

2 スポーツを通じた交流活動を促進します。

スポーツを通じて、市民同士や地域間の交流促進を図ります。また、国内外の大規模なスポーツイベントや競技大会を積極的に誘致し、参加者との交流を図るとともに、本市の魅力発信に努めます。

主な事業…各種競技大会誘致事業、競技力向上事業

3 スポーツ施設の充実を図ります。

気軽にスポーツに取り組むことのできるスポーツ広場や本格的に活動できる運動公園など、市民が利用しやすく、快適にスポーツを楽しめる環境を提供するため、スポーツ施設の充実に努めます。

主な事業…運動公園等整備事業、スポーツ広場等整備事業、大米野球場等管理運営事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- スポーツの必要性の理解
- スポーツ活動への積極的な関わり

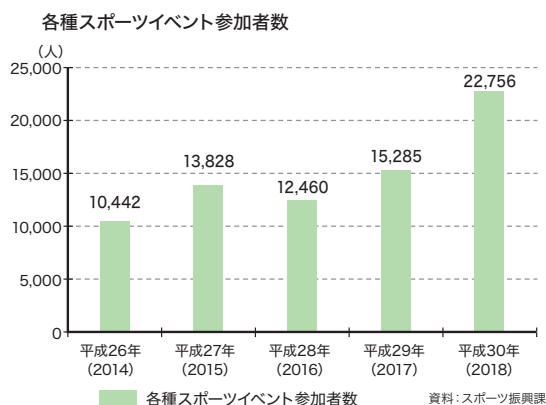


行政の役割

- 市民の的確なスポーツニーズの把握
- スポーツイベントへの参加啓発と情報提供
- スポーツ施設の整備・管理運営

関連する個別計画

第2次成田市生涯スポーツマスタープラン、成田市学校教育振興基本計画



第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-3 国際性豊かなまちづくり

3-3-1

国際理解を促進する



8年後の 目指す姿

多くの市民がグローバル化に対応し、多様な文化や価値観を受け入れ、英語で自分の思いを発信するコミュニケーション能力が向上しています。また、外国人との相互理解により、誰もが住みやすく魅力ある多文化共生のまちが実現しています。

4年間の 取組方針

英語教育に関して、授業内容や指導方法の充実を図るとともに、多文化理解の機会をより多く提供します。また、外国人に対し、日常生活への適応を図ることができるよう総合相談窓口などにより支援します。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
外国人英語講師配置校数	35校(全校配置)	34校(全校配置)	29校(全校配置)	29校(全校配置)
小中学校英語アンケート 「英語の学習が好きですか」で 「はい」の割合【重点指標】	86.7%	84.8%	88.0%	88.0%
成人式での英語に関する アンケート 「外国人に話しかけられたら応え てあげますか」で「はい」の割合	83.8%	90.0%	92.0%	92.0%

現状と課題

国際理解力が育まれた人材の育成に向けて、本市では、市内全小中義務教育学校に外国人英語講師(ALT)を配置し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るなど、教育課程特例校として英語教育の充実に取り組んでいます。

英語教育については、小学校1年生からの英語教育や市の独自プランに基づいた授業実践など、これまで先進的な取組みを行ってきたところであり、本市の児童生徒は英語コミュニケーションへの関心が高いという成果が見られていますが、学習指導要領の改訂に伴い、全国的に小学校3年生からの英語教育が始まることから、引き続き、本市の更なる英語教育の向上のため、授業内容や指導方法の充実が求められています。

また、グローバル化の進展に伴い、国際理解のより一層の推進が必要となるとともに、今後とも増加が見込まれる外国人住民との共生に向けて、多様な文化や価値観を認め合い、地域の一員として共に支え合う環境づくりが求められており、外国人に対する相談体制の整備や多言語による情報提供に努める必要があります。さらに、外国人児童生徒に対しては、日本語教育補助員の確保などにより、学校生活や日常生活への支援を充実させることが求められます。

施策の方向

1 英語によるコミュニケーション能力の育成を目指します。

市内全小中義務教育学校に外国人英語講師を配置し、英語でのコミュニケーション能力の育成を図ります。また、英語教育についての教員の研修活動の充実に努めます。

主な事業…英語科研究推進事業

2 異なる国や文化への理解を深めます。

外国人英語講師を活用し、英語教育支援のみならず、多文化理解の機会をより多く提供します。また、国際交流活動を推進するとともに、授業などで世界各国の様子や文化を紹介するなど、一層の国際理解の促進につなげます。

主な事業…英語科研究推進事業（再掲）、国際交流事業

3 外国人の日常生活を支援します。

外国人との共生を促進するため、外国人に係る総合相談窓口において、生活に係る相談や情報伝達について多言語で対応し、日常生活への適応を支援するとともに、日本語が十分に理解できない外国人児童生徒のために、日本語教育補助員による支援を行います。

主な事業…外国人に係る総合相談窓口運営事業、日本語教育補助員配置事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 異文化に対する積極的な関心と理解
- 英語教育への理解・協力
- ボランティアによる外国人への支援

行政の役割

- 異文化教育の促進
- 英語教育の推進
- 日本語教育補助員の配置
- 多言語による相談窓口の運営

関連する個別計画

成田市学校教育振興基本計画

■国籍別外国人住民の人口(令和2年2月末現在)

1	2	3	4	5	6
フィリピン	中国	ベトナム	ネパール	スリランカ	韓国
961	829	784	603	549	489
7	8	9	10		合計
タイ	ペルー	台湾	インドネシア	その他	69か国
364	358	267	239	861	6,304



第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

▶ 3-3 国際性豊かなまちづくり

3-3-2 国際交流を推進する



8年後の 目指す姿

成田国際空港を窓口として世界各国から多くの来訪者が訪れるとともに、多くの外国人が市内に在住し、国際交流イベントや、友好・姉妹都市との交流が、市民を中心として行われています。

4年間の 取組方針

本市の友好・姉妹都市との交流を深めます。また、成田市国際交流協会の活動に対する市民の参加を促すとともに、国際交流イベントなどを通じて外国人と共に暮らせるまちづくりを進めます。

まちづくり指標

指標名	実績値 平成26年度 (2014)	実績値 平成30年度 (2018)	目標値 令和5年度 (2023)	目標値 令和9年度 (2027)
外国人交流イベント参加者数 (国際交流協会)	928人	343人	550人	650人
国際市民フェスティバル 参加者数	3,500人	2,000人	4,600人	4,700人

現状と課題

市民の国際感覚を育み、市民レベルでの国際交流の推進を図るため、本市では、友好・姉妹都市関係にある海外の7都市との交流や、外国人住民との交流を目的とした身近な国際交流イベントなどを実施しています。

友好・姉妹都市とは、子どもたちのホームステイ交流や、文化やスポーツ交流などにより友好を深めており、今後は、それぞれの都市とさらに友好を深めていくためにも、幅広い分野での市民を中心とした様々な交流事業の展開を検討していくことが必要となります。

また、多くの外国人が訪れ、生活する国際都市として、国籍等の違いにとらわれず、お互いの文化を尊重し共に暮らせるまちを実現するため、国際交流協会と連携し、国際交流イベントや交流事業などを積極的に推進し、相互理解を深めていくことが求められています。

施策の方向

1 友好・姉妹都市との国際交流を推進します。

国際都市成田として、中高生の相互ホームステイ交流などにより友好・姉妹都市との交流を深め、市民が友好・姉妹都市を身近に感じられるように努めるとともに、交流を通じて、市民の国際性の涵養を図ります。

主な事業…国際交流事業（再掲）

2 様々な外国人との交流を進めます。

国際交流イベントを通じて、市民の国際理解と国際親善の推進を図ります。また、国際交流に関する情報を積極的に発信し周知を図ることで、より多くの市民と外国人とが互いに理解し合う場の提供に努めます。

主な事業…国際交流事業（再掲）、国際市民フェスティバル開催事業、国際子ども絵画交流展開催事業

市民の役割・行政の役割



市民の役割

- 国際交流事業への積極的な参加・協力
- 国際文化・国際交流への興味・関心



行政の役割

- 友好・姉妹都市との交流関係の維持・連絡・情報交換
- 国際交流協会事業の周知・市民への情報提供
- 友好・姉妹都市に関する情報提供・交流できる場の提供

関連する個別計画

成田市学校教育振興基本計画、第2次成田市生涯学習推進計画

成田市の友好・姉妹都市



中国・咸陽市



アメリカ・サンブルノ市



韓国・仁川広域市中央区



韓国・井邑市



デンマーク・ネストベズ市



ニュージーランド・フォクストン



台湾・桃園市

